

### Q3 キャリア教育と学習指導要領との関連はどのようになっていますか。

学習指導要領に示されている内容、配慮事項等のうち、キャリア教育にかかわる主な事項は、次の表のとおりです。これらの関連を踏まえ、教科等の特性を生かしながら、キャリア教育を学校の教育活動全体を通して展開することが大切です。

#### 小 学 校

	キャリア教育と学習指導要領との主な関連事項
特別活動	<p>【学級活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動</li> <li>・希望や目標をもって生きる態度の形成、基本的な生活習慣の形成、望ましい人間関係の育成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成などの活動</li> </ul> <p>【児童会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の充実と向上のための協力などの活動</li> </ul> <p>【学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労生産・奉仕的行事における勤労・生産体験やボランティア活動など</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの大切さを知り、進んで働くこと</li> <li>・働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをすること</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えること</li> <li>・ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動などの体験的な学習</li> </ul>
教科等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科や家庭科における家庭での仕事の理解と役割分担に関する学習</li> <li>・社会科における地域の人々の生産や販売、我が国の産業について調査・見学や資料を活用した調べ学習など</li> <li>・学習課題や活動の選択、自らの将来について考えたりする機会の設定</li> </ul>

#### ワンポイントアドバイス

#### キャリア教育のフィルターから教育課程の見直し

キャリア教育の推進に当たっては、関連する様々な教育活動が各学校の教育課程に位置付けられ、計画的・系統的に展開されることが求められます。そのため、キャリア発達にかかわる諸能力と教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の目標や学習活動との関係を踏まえ、特に関連の深い単元（題材）を洗い出すことが大切です。（P64、P65参照）

また、職場体験やインターンシップ等の体験活動など、中核となる活動の目標や内容をキャリア教育の視点から見直すとともに、他の教育活動との関連を図り、計画的・組織的に学習活動を展開することも大切です。



中学校・高等学校

	キャリア教育と学習指導要領との主な関連事項
特別活動	<p>【学級（ホームルーム）活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動</li> <li>・個人及び社会の一員としての在り方（生き方）に関すること 青年期の不安や悩み（悩みや課題）とその解決、自己及び他者の個性の理解と尊重、社会の一員としての自覚と責任（社会生活における役割の自覚と自己責任）、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立（コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立）、ボランティア活動の意義の理解、（国際理解と国際交流） など</li> <li>・学業生活の充実及び将来の生き方と進路の適切な選択（決定）に関すること 学ぶことの意義の理解、自主的（主体的）な学習態度の形成（確立）、選択教科等（教科・科目）の適切な選択、進路適性の吟味（理解）と進路情報の活用、望ましい職業観・勤労観の形成（確立）、主体的な進路の選択（決定）と将来設計など</li> </ul> <p>【生徒会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の充実・改善向上を図る活動やボランティア活動など</li> </ul> <p>【学校行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労生産・奉仕的行事における職業や進路にかかわる啓発的な（職業観の形成や進路の選択決定に資する）体験やボランティア活動など</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めること</li> <li>・勤労の尊さや意義を理解するとともに、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努めること</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造に取り組む態度を育て、自己の（在り方）生き方を考えること</li> <li>・（生徒が興味・関心、進路等に応じて設定した課題について知識や技能の深化、総合化を図る学習）</li> <li>・（自己の在り方生き方や進路について考察する学習）</li> <li>・ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習</li> </ul>
教科等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の技術・家庭科、社会科の公民的分野や選択教科における関連分野での学習</li> <li>・中学校・高等学校の保健体育科、国語科、外国語科、高等学校の公民科における学習</li> <li>・高等学校の職業に関する各教科・科目における実習をはじめとした学習</li> <li>・高等学校における「産業社会と人間」などの学校設定教科・科目での学習</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活への適応と選択教科（教科・科目）や進路の選択にかかるガイダンスの機能の充実</li> <li>・高等学校普通科、専門学科におけるコースや類型及び選択科目の設置、総合学科における系列の提示と多様な選択科目の設置など</li> </ul>

※（ ）内の記述は高等学校のみの内容 ※ 「道徳」は中学校のみ